

2020年3月13日



富士急行

富士急行株式会社
富士急バス株式会社

電気バスを山梨県内初導入 3/16(月)より富士五湖エリアで運行開始



富士急バス株式会社（本社：山梨県南都留郡富士河口湖町、取締役社長：高部 久夫）は、世界文化遺産富士山の環境保全への取り組みの一環として、山梨県で初となる電気バスを3台導入し、2020年3月16日（月）より富士五湖エリアで順次運行を開始いたします。

今回導入する電気バスは、充電した蓄電池の電力でモーターを動かすことによって走行するガソリンを一切使わない次世代型の車両で、従来のディーゼルバスと比べ排出ガスや走行騒音を大幅に抑制できる地球環境にやさしいバスです。また、車いすの方も利用しやすいよう反転式スロープなどを設置しています。デザインは環境にやさしい「電気のバス」ということが一目でわかるように、コンセントをかたどったバスに「EV-BUS」のロゴをアイキャッチに、そのロゴマークから伸びる枝が、富士山の緑に繋がることで、自然環境への配慮と世界遺産・富士山の自然を守り続けていこうという決意を表しています。

なお、この電気バスの導入は、国土交通省「平成31年度地域交通グリーン化事業」に認定されており、低公害車普及促進対策費補助金の交付を受けており、災害時には電気バスを移動蓄電池として、LED照明点灯やスマートフォン充電、休憩所確保等にも活用するなど、周辺地域にお住まいの方々や観光客を手助けする使命も担っています。

今後も富士急バスでは、環境保全への取り組みを通して、サステイナブル（持続可能）なまちづくりへの貢献に努めて参ります。

【電気バス概要】

■導入車両 BYD 製 大型ノンステップ電気バス 3台

航続距離 250km(フル充電時)

バッテリー容量 324kWh ※一般家庭(4人家族)約4週間分の電気容量

■デザイン 環境にやさしい「電気のバス」が一目でわかるように、コンセントをかたどったバスに「EV-BUS」のロゴをアイキャッチにし、そのロゴマークから伸びる枝が、富士山の緑に繋がることで、自然環境への配慮と世界遺産・富士山の自然を守り続けていこうという決意を表しています。バスを一周ぐると取り囲んだ枝は躯体にデザイン的な緊張感を与えるとともに、再生可能な社会の実現を意図し、地球にやさしい、人にやさしい電気バスをアピールできるように、目にもやさしいデザインを目指しました。

【富士急バス株式会社について】

本社所在地 〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立 4837

電話番号 0555-72-6877

事業所 本社営業所、大月営業所、上野原営業所、甲府営業所、八王子営業所

事業内容 (1) 一般乗合旅客自動車運送事業

(2) 一般貸切旅客自動車運送事業